

株式会社エム・エー・ディー DX推進ビジョン

2025年11月1日 策定

代表取締役 高橋 守



01. DX推進ビジョン

1. AIツール導入による生産性向上

- (1) AIツール導入による開発プロセスの効率化
- (2) AIツール導入による資料作成時間の短縮

2. DX人材の育成

- (1) DXテクノロジー専門人材育成(Schooオンライン教育)
- (2) 民間資格の取得(生成AIパスポート～G検定 等)

02. DX推進の取り組み - DX推進強化における組織編制

2023年4月より、DX推進委員会を新設いたしました。引き続き、DX推進に向け迅速に課題解決します。ECサイトの構築技術を用いて、組織改革を伴う情報・判断・データの一元化とアナログ業務のデジタル化により、顧客体験および業務の品質の向上および効率化を行います。



1. お客様向けWEBシステム開発
2. 課題発見のためのデータ分析
3. AIツール導入による業務効率化
4. DXテクノロジー専門人材育成

03. DX推進の取り組み – 推進計画

DXビジョンに基づく推進項目	推進計画
1. AI導入による生産性向上	(1)AIを用いたシステム開発工程の効率化 開発工数の削減 (2)AI導入による資料作成作業時間の短縮 作業時間の短縮
2. 人材育成	(1)DX人材の育成 (2)民間資格の取得（生成AIパスポート、G検定）

上記計画達成時の指標

1. AI導入推進による生産性向上	業務削減時間	500時間/年間
2. 人材育成	資格取得者	3名

04. DX推進の取り組みーDX戦略

DX戦略

AI導入による 生産性向上

AIツールを導入し、開発プロセスにかかる工数削減を行います。
AIツールを導入して、資料作成時の生産性向上させます。
また、バックオフィス業務へもAIを導入。業務改善を推進し、全体最適の上でサービス品質を向上させます。

人材育成戦略

自社のDX推進を図るため計画的な社内人財の育成によるITリテラシー向上のためオンライン教育及びAIの民間資格の取得を目指します。

05. DX推進の取り組み –DXシナリオ

1. AIツール導入による生産性向上

(1) AIツール導入による開発プロセスの工数削減

AIツールを導入し、各開発プロセスを効率化し、工数削減を目指します。

(2) AIツール導入による資料作成の工数削減

提案書、見積書、請求書などの作成作業に時間がかかり過ぎているため、AIツールを導入し、作成に掛かる時間の削減を目指します。

2. 人材育成

(1) DX専門人材育成

オンライン教育でDXの知識をつけていきます。

(2) 民間資格の取得

AIパスポート～G検定等の資格を取得します

06. DX推進の取り組み –環境整備の具体的方策

当社ではDXの推進のために下記のような環境整備に取り組んでいます。

1. 開発プロセスおよび資料作成において、適切なAIツールの導入
2. 計画的なITスキルアップ教育の実施

07. DX推進の取り組み – 今後の情報発信

現在、当社ではAIツール導入による開発プロセスの効率化、業務のデジタル化を促進してDX推進委員会が中心となりの会社全体の生産性向上を目標に環境整備に取り組んでいます。

AIツールの導入は、単なる工数削減に留まらず、各開発プロセスの品質改善に必要な取り組みと考えております。

AIツールやICT技術を活用することで「効率と生産性を高め、新たな価値を作り出す」取り組みを推進しています。

当社では、今後もDXの推進の状況につきまして、ホームページの「当社のDX推進に対する取り組み」として、随時、公開して参ります。